

水俣病情報センター企画展示 ～ 水銀モニタリング ～

水俣病情報センター1階展示室では、1月から「水銀モニタリング」に関する情報を新たに展示しています。水俣地域や日本各地、世界で実施しているモニタリングの目的や意義、どのような機材や方法で行っているかなど、わかりやすく解説しています。この「拡がるNIMDの活動展開」と題した企画展示、ぜひ常設展示と併せてご覧ください。



国水研の動き

令和6年7月
～令和7年1月

- 7/31 長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム水俣フィールド研修受入れ
- 8/2 天草市立綾南中学校教員研修受入れ
- 8/8 人吉市立第三中学校教員研修受入れ
- 10/2 九州地方環境事務所研修受入れ
- 11/2 ダンスと光の体験型イベント開催
- 11/6 「水俣」書道・絵画コンクール表彰式
- 11/28 札幌開成中等教育学校研修、札幌旭丘高等学校研修受入れ
- 12/13 環境再生保全機構水俣研修受入れ
- 12/14 リハビリテーション技術講習会開催
- 1/16-17 UNEP研修受入れ
- 1/22-23 環境調査研修所環境問題史研修受入れ

国立水俣病総合研究センター (NIMD)のロゴマークについて

みなと、水、人と、ともにあるもの。空と、緑と、海。その源となる、輝く水。母から子へと受け継がれる生命。自然に照らされ、その生命は輝きます。水俣病の被害にあわれた方々。海とともに生きる生命、自然環境。そして深刻な影響を受けた地域社会。同じ過ちを二度と起こさないと誓い、自然とともに人々が豊かに生きるために、私たちができることを全力で追及する。その思いを中心に、未来へ向けてすべての方向を照らします。国立水俣病総合研究センターの使命をシンボルマークに込めました。



NIMD National Institute for Minamata Disease

国水研へのアクセス



- みなくるバス
青バス湯の見線 とんとん峠下車 700m(徒歩約12分)
- JR 新水俣駅から5.5km
- 肥薩おれんじ鉄道 水俣駅から4.6km

facebookでも
情報発信して
います!



NIMD PLUS+YOU

環境省 国立水俣病総合研究センター 広報誌 ニムドプラスユー

研究室の紹介

環境・保健研究部
環境・保健研究部
部長室
環境・保健研究部
生態学研究室

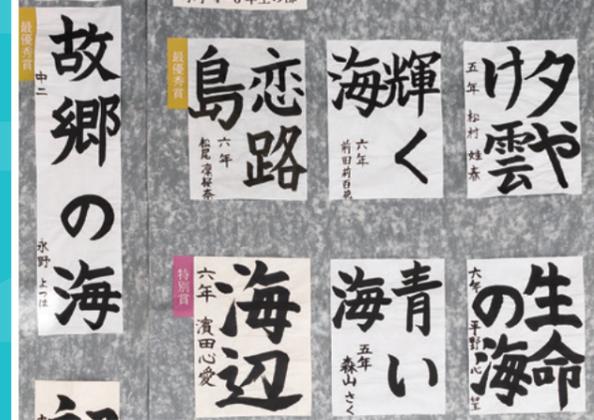
トピックス

「水俣」書道・絵画
コンクール実施
メタルバイオサイエンス
研究会2024
ICMGP2024開催
ニカラグア調査
水俣市在住中学生の
職場体験

No. 58

令和7年(2025年)3月発行

<http://nimd.env.go.jp>



はじめに

国立水俣病総合研究センターの広報誌である、

「NIMD+you」を手にとっていただきありがとうございます。

今号では、地域活動の一環として実施した書道展や職場体験、海外調査やフォーラムおよび学会等、多数のイベントについてご紹介させていただきます。

また、研究室紹介では、環境・保健研究部 部長室(山元)と生態学研究室(吉野)の日々の取組や成果についても紹介します。

今後も皆様のご意見などをお伺いしながら内容を充実させ、

情報発信を行っていききたいと思います。

引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

NIMD
PLUS
+YOU

国立水俣病総合研究センターのロゴが新しくなりました！

新しくなったロゴとともに、
これからも国立水俣病総合研究センターをよろしくお願いいたします。

みなもとの、水。

人と、ともにあるもの。

空と、緑と、海。

その源となる、輝く水。

母から子へと受け継がれる生命。

自然に照らされ、その生命は輝きます。

水俣病の被害にあわれた方々。

海とともに生きる生命、自然環境。

そして深刻な影響を受けた地域社会。

同じ過ちを二度と起こさないと誓い、

自然とともに人々が豊かに生きるために、

私たちができることを全力で追及する。

その思いを中心に、

未来へ向けてすべての方向を照らします。

国立水俣病総合研究センターの使命を

シンボルマークに込めました。



NIMDトピックス その1

「水俣」 書道・絵画 コンクール 実施



国立水俣病総合研究センターでは、小中高校生を対象とした出前授業や職業体験の受け入れ、健康保健に関する市民講座の開催など地域での活動に取り組んでいます。こうした地域活動の一環として、美しくよみがえった水俣の自然や水俣の推しを小中高校生の皆さん、市民の皆さんに書道と絵画で表現していただき、多くの方に見ていただくために「水俣」書道・絵画コンクールを実施しています。今年度は書道・絵画へ284点のご応募があり、その中から優秀作品を選出し、11月6日(水)に水俣病情報センター講堂にて表彰式を開催いたしました。来年度もコンクールを実施する予定ですので、皆様のご応募をお待ちしております。

最優秀賞

書道の部

小学1-3年生の部
井手下 侑惺さん



小学4-6年生の部
松尾 凜桜奈さん



特別賞

小学1-3年生の部
井手下 泰隆さん



小学4-6年生の部
濱田 心愛さん



中学生の部
永野 よつはさん



高校生の部
開田 莉子さん



高校生の部
塩平 爽太さん



優秀賞の皆さん

- ・岩崎 千夏さん
- ・森山 いろはさん
- ・前田 莉百花さん
- ・松岡 陽莉さん
- ・平野 心望さん
- ・竹本 一登さん
- ・入江 凜愛さん
- ・矢野 芙蓉妃さん
- ・伊藤 愛さん
- ・森田 璃愛さん
- ・松本 彩来さん
- ・古川 勇樹さん
- ・宮原 紬衣さん
- ・松本 歌蓮さん
- ・森山 さくさん
- ・松村 娃春さん
- ・秋元 舞白さん
- ・坂崎 珠李さん
- ・小畑 明夕さん
- ・長濱 楓さん
- ・鬼塚 咲和さん
- ・小坂 寧々さん
- ・松村 陸さん
- ・志水 奏多さん

所長賞

絵画の部

小学1-3年生の部
佐々木 成美さん



最優秀賞

小学1-3年生の部
渡辺 凪さん



小学4-6年生の部
松本 歌蓮さん



特別賞

小学1-3年生の部
赤石 暁さん



小学4-6年生の部
釜 杏理さん



優秀賞の皆さん

- ・田中 麻雄さん
- ・井上 蒼さん
- ・永田 登大さん
- ・柏木 柚希さん
- ・松内 卓太郎さん
- ・望月 麻子さん
- ・小山 佳子さん
- ・宮川 聖椰さん
- ・山下 晴翔さん
- ・鳥居 桜寿さん
- ・高木 大幹さん

メタルバイオサイエンス研究会2024

2024年10月17日(木)と18日(金)の2日間に渡って、「メタルバイオサイエンス研究会2024」が水俣市「もやい館」にて開催されました。本研究会は、日本毒性学会の部会である生体金属部会が主催する学術研究集会で、研究会の名前(メタルバイオサイエンス)に示しているように「金属と生体との関わり」についての総合的な理解を深め、金属研究全般の発展に寄与することを目的としています。今回の研究会は国立水俣病総合研究センターとの共催となりました。また、水俣での開催にちなみ、「温故知新:水俣で語らう生体金属研究の未来」をテーマとして掲げ、例年の研究会に加え「語り部の会 緒方正実会長による特別講演」、「水俣視察ツアー」を催し、水俣高校の生徒さん4名にも水俣に関する研究についてご発表いただきました。参加者数は100名以上、発表演題は57と盛況で、参加者の方からは「語り部さん講演や水俣視察によって、机上で研究しているだけではなく歴史的経緯や社会的影響を理解でき、自らの行っている研究の意義を感じた。」というお声をいただきました。



高校生ポスター賞



ニカラグア調査



今回の研修で一緒にCIRA職員の皆さん

2024年9月中旬から2週間ほど、中米ニカラグア共和国へ国際協力機構(JICA)からの依頼で渡航してきました。渡航内容は土壌/底質中のメチル水銀濃度分析に関する分析技術向上のための研修業務です。現地、ニカラグア自治大学付属水資源研究所(CIRA)が中心となって、ニカラグア周辺の6か国(コスタリカ、エクアドル、グアテマラ、エルサルバドル、ペリーズ、ホンジュラス)に水銀分析の指導をJICA支援の中で積極的に行っています。今回はCIRAの分析技術の更なる向上を目指した結果、良い成果を得ることができました。

ICMGP2024開催

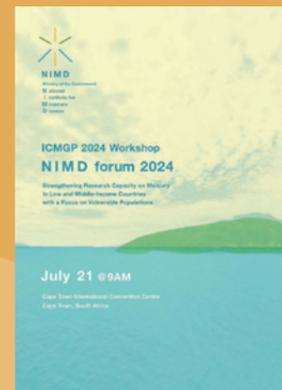
2024年7月、南アフリカ・ケープタウンで開催された第16回国際水銀会議に参加し、当センターの研究成果を発信しました。毛髪水銀濃度の測定体験を通じて多くの方々と情報交換し、水俣病の語り部の方には水銀汚染の実態とその影響をお伝えしました。これからも環境と健康を守るために、水俣と世界をつなぐ活動を続けてまいります!



語り部によるお話



フォーラム会場での意見交換



開催概要

水俣市在住中学生の職場体験

9月19日(木)及び20日(金)に、水俣第一・水俣第二・袋中学校に通う生徒さん3名が職場体験に来て下さいました。国水研ではご自身の毛髪中水銀濃度の測定、リハビリテーションなどを体験していただきました。また、研究所内だけではなく、地域リビング及びMEGセンターにも出かけて様々な体験をしていただくことができました。来年度も多くの生徒さんのご参加をお待ちしております。



これで
あってる
かな?





国水研の研究室

N I M D L a b o r a t o r y



環境・保健研究部 部長室

環境・保健研究部

研究室の取り組み・目的

水銀化合物の曝露に伴う健康影響には個人差が見られます。メチル水銀曝露に対するハイリスクグループとして、高濃度の水銀に曝露したグループ、及び水銀に対する高感受性のグループが挙げられます。これらのグループにおいてはメチル水銀への曝露を正確に把握し、健康影響に関する適切なリスク評価を行う必要があると考えられます。本研究室では、メチル水銀曝露に対するハイリスクグループにおける曝露評価研究、及び感受性要因の解明を目指した実験研究を行っています。

研究内容

病態下におけるメチル水銀の代謝・動態及び毒性発現に関する研究

病態下におけるメチル水銀の代謝・動態を明らかにすることを目的として、実験動物モデルを用いてメチル水銀の体内動態の解析を行っています。

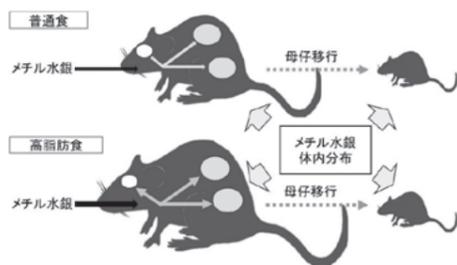


図:肥満におけるメチル水銀の体内動態

生物試料中のメチル水銀の簡便な分析法の開発、及びメチル水銀の曝露評価に関する調査研究

「水銀に関する水俣条約」を踏まえ、水銀の体内蓄積を評価するためのツールとなる生物試料中の水銀の簡易分析技術の開発を行っています(参照:日本分析化学会「ぶんせき」2021年1月号:<https://www.jsac.or.jp/bunseki/pdf/bunseki2021/p21.pdf>)。また水銀汚染に関する環境問題を抱える国々から短期研修生を受け入れ、将来それぞれの国で水銀分析や水銀への曝露評価を進めることができるようサポートしています。



水銀分析研修



インドネシアにおける調査

水銀汚染に関する環境問題を抱える地域の人々がどの程度水銀に曝露しているのか?を把握するための調査研究を行っています。



生態学研究室

環境・保健研究部

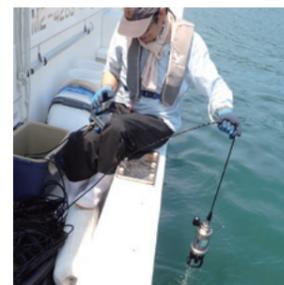
研究室の取り組み・目的

水銀の人への主要な暴露源は汚染された魚介類の摂取です。ではその魚介類は生態系内のどのような経路で水銀に汚染されるのか?どうしてある種は他の種に比べて高い水銀濃度を示すのか?生態学研究室では海洋生物の水銀の蓄積状況や蓄積経路の把握を大きな目的として、水俣湾を中心に野外での環境モニタリングや試料採集とそれらの分析を行っています。

研究内容

環境モニタリングと生物試料の採集

海洋生物の動態に影響を与える水温や塩分など、測器を使用した環境パラメータのモニタリングのほか、船上から特殊な機器を用いて採水や採泥を行います。泥中に住むゴカイ類や貝類、甲殻類などの底生動物(ベントス)は篩を使ってある程度より分けた後、さらに実験室にて個別に生き物を拾い出し、顕微鏡下で種の同定を行います。こうした試料は生物環境の把握、水銀分析に用いられます。



水質計を投下している様子



底泥を篩でふるう様子

食物網内での水銀の生物濃縮

採集したプランクトン、ベントスから魚類までを含む様々な海洋生物は炭素・窒素安定同位体分析と水銀分析を行います。炭素・窒素安定同位体を調べることで食物網内での食う食われる関係や栄養段階が推定でき、水銀分析の結果と合わせることで蓄積経路や生物濃縮の程度などを評価できます。



篩に残った底生生物